

令和8年蔵王町議会定例会

令和8年3月3日（火曜日）

出席議員（13名）

1番	平間 徹也 君	2番	宇田川 敬之 君
3番	佐藤 敏文 君	5番	藤澤 麻衣子 君
6番	葛西 清 君	7番	馬場 勝彦 君
8番	村上 正文 君	9番	今 千佳 君
10番	松崎 良一 君	11番	外門 清 君
12番	伊藤 雅代 君	13番	村上 一郎 君
14番	佐藤 長成 君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長	村上 英人 君
副 町 長	平間 喜久夫 君
会計 管理 者 長	我妻 敏 君
会 計 課 長	
総 務 課 長	鈴木 賢 君
防 災 専 門 監	佐藤 洋一 君
まちづくり推進課長	川井 大文 君
町民 税 務 課 長	高橋 幸治 君
保 健 福 祉 課 長	大槻 みちる 君
子 育 て 支 援 課 長	鹿島 亜希 君
環 境 政 策 課 長	宮澤 一弘 君
農 林 観 光 課 長	佐藤 敏彦 君
建 設 課 長	大槻 健一 君
病 院 事 務 長	鈴木 智子 君

上下水道課長	平間勝文君
教 育 長	文谷政義君
教育総務課長	日下光義君
生涯学習課長	佐藤孝志君
スポーツ振興課長	佐藤武憲君
農業委員会事務局長	山家信行君

事務局職員出席者

事務局 長	佐藤長也君
事務局 長 補 佐	鈴木直美君

議事日程 第2号

令和8年3月3日（火曜日） 午前10時00分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 諸般の報告

日程第 3 議案第 3号 令和8年度蔵王町一般会計予算

日程第 4 議案第 4号 令和8年度蔵王町国民健康保険特別会計予算

日程第 5 議案第 5号 令和8年度蔵王町宮財産区特別会計予算

日程第 6 議案第 6号 令和8年度蔵王町介護保険特別会計予算

日程第 7 議案第 7号 令和8年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算

日程第 8 議案第 8号 令和8年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算

日程第 9 議案第 9号 令和8年度蔵王町水道事業会計予算

日程第10 議案第10号 令和8年度蔵王町下水道事業会計予算

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分 開議

○議長（佐藤長成君） 皆様、おはようございます。

定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。

それでは、これより本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますから、議会は成立いたしました。

本日の議事日程はお手元に印刷配付のとおりであります。日程に従い議事を進めます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐藤長成君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、6番葛西 清君、9番今 千佳君を指名いたします。

日程第2 諸般の報告

○議長（佐藤長成君） 日程第2、諸般の報告をいたします。

本日の会議に説明員として出席を求めた者の職、氏名については、一覧表としてお手元に配付のとおりであります。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 議案第3号 令和8年度蔵王町一般会計予算

○議長（佐藤長成君） 続いて、日程第3、議案第3号令和8年度蔵王町一般会計予算を議題といたします。

提出者から提案の理由の説明を求めます。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） 皆さん、おはようございます。

早速ですが、ただいま上程されました議案第3号令和8年度蔵王町一般会計予算について提案の理由をご説明申し上げます。

本案は、この後、予算特別委員会に付託され、詳しく審査していただくことになると思いますので、全体の概要について申し上げます。

令和8年度一般会計予算は、総合運動公園遊具設置事業や、各システム標準化導入事業が減

額となりましたが、統合中学校建設関連事業の大幅な増額により、前年度より12億5,600万円、14.7%増の98億1,200万円となりました。

それではまず、歳入について、主なものをご説明申し上げます。

町税については、町民税や固定資産税の増額により、前年度に比べ0.3%増の17億416万7,000円を計上いたしました。

地方交付税は、全体で1.7%増の24億6,050万円を計上したところであります。普通交付税については、前年度より5,000万円の増としたところであります。

寄附金は、ふるさと応援寄附金について、前年度より2億円増の7億円を計上いたしました。

国庫支出金は、デジタル基盤改革支援補助金が皆減となりましたが、公立学校施設整備費負担金の増により、前年度より1億8,839万1,000円増の11億4,295万8,000円を計上いたしました。

県支出金は、公立学校情報機器整備事業費補助金の減や、参議院議員及び宮城県知事選挙費委託金の皆減により、前年度より4,839万9,000円減の3億1,601万1,000円を計上いたしました。

繰入金は、義務教育施設整備基金繰入金や、森林環境譲与税基金繰入金などの増により、前年度より1億9,803万9,000円増の6億7,009万8,000円を計上いたしましたところであります。

町債は、統合中学校建設に伴う公共施設等適正管理推進事業債の大幅な増により、前年度より6億2,030万円増の19億9,850万円を計上いたしました。

次に、歳出の主なものを申し上げます。

まず、議会費は1億813万3,000円を計上いたしました。前年度より781万6,000円、7.8%の増となりました。

次に、総務費は12億8,289万6,000円を計上いたしました。情報政策費、賦課徴収費、戸籍住民基本台帳費及び選挙管理委員会費において、国のシステム標準化に伴う各システム標準化導入事業の皆減により、6,735万7,000円、5.0%の減となりました。

次に、民生費は20億4,792万4,000円を計上いたしました。後期高齢者医療費において後期高齢者医療療養給付費負担金が増となりましたが、物価高騰対策費が廃目となったことから、2,198万4,000円、1.1%の減となりました。

次に、衛生費は6億3,569万円を計上いたしました。新たにみやぎ県南中核病院運営費を創設し、救急医療負担金を予算計上したことから、1,211万2,000円、1.9%の増となりました。

次に、農林水産業費は1億8,059万1,000円を計上いたしました。向山地区ほ場整備事業用地地形図作成事業の完了によるほ場整備事業費の減により、1,486万2,000円、7.6%の減となりました。

次に、商工費は2億547万9,000円を計上いたしました。こけし館駐車場舗装・区画補修事業に伴う伝統産業会館管理費や観光活性化基金費の増により、615万円、3.1%の増となりました。

次に、土木費は6億4,161万円を計上いたしました。町道整備事業に係る道路改良整備事業費や、総合運動公園遊具設置事業の完了による公園管理費の減により、3,431万3,000円、5.1%の減となりました。

次に、消防費は3億2,462万8,000円を計上いたしました。仙南地域広域行政事務組合消防費負担金に係る常備消防費や、小型消防動力ポンプ積載車購入事業に係る消防施設費の増により、3,581万6,000円、12.4%の増となりました。

次に、教育費は39億1,604万5,000円を計上いたしました。統合中学校建設関連事業に係る義務教育施設整備費の大幅な増により、13億870万1,000円、50.2%の増となりました。

次に、災害復旧費は、災害発生時の町道や農道・用排水路等の応急修繕に備えるため、757万9,000円を計上したところであります。

次に、公債費は4億4,313万4,000円を計上いたしました。前年度より2,926万2,000円、7.1%の増となりました。

次に、第2表債務負担行為については、新たに13件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、第3表地方債については8件で、総額19億9,850万円を計上いたしました。

また、予算第4条に定める一時借入金については、大規模災害など不測の事態に備えるため、最高額を前年度と同額の5億円に定めるものであります。

以上、予算の概要をご説明申し上げましたが、詳細につきましては、予算特別委員会で慎重にご審議の上、原案どおり可決決定くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（佐藤長成君） 提案理由の説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

本案につきましては、予算特別委員会に審査を付託する予定でありますので、質疑は政策的なもの、あるいは総括的なものについて質疑をされるようお願いいたします。

それでは、質疑ありませんか。1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） まず、詳しいことは予算特別委員会でやりますけれども、今回の予算の

中で特徴的なのは、やはり過去最大の予算額98億円になります。3年連続とかで更新、更新、更新で、予算額が98億円となりました。令和5年度決算で10億6,000万円、令和6年度12億9,000万円、令和7年度予算13億7,000万円、令和8年度予算19億9,000万円、計57億3,000万円の町債を言わば借金をすることになったんですね、最近、学校建設のために。

単純にお伺いしたいのは、まず、学校建設の予算のための大型町債発行は今年度でめどがつくのか、来年度はもうないのか、これで建てられるのかということと、あと、施政方針演説の中で、財政の見通しについて町長は、令和6年度の決算審査の数字で、令和6年度のですよ、数字で実質公債費比率、将来負担比率等の状況を見ると健全財政を維持できているとおっしゃっていましたが、認識していると思うんですけども、議会の性質上、今確定しているのは令和6年度決算までなんですけど、もう今令和8年度の予算の話をしていて、令和7年度に13億円の町債、令和8年度に19億円、約20億円の町債を発行しようとしているわけじゃないですか。プラス33億6,000万円の町債が増えた後の速報値とか、財政についてどういうふうに判断しているかというのを伺いたいですけれども。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） おっしゃられるとおり、今年度でありますけど、令和8年度98億1,200万円というのは、内部でもいろいろと対応させていただきました。

まず1つは、第五次長期総合計画の後期基本計画に沿って事業を着実に継続しながら、また、蔵王中学校開校準備に必要な予算を集中させるために、新規の事業の抑制及び継続事業の精査をさせていただいたところでもあります。そういった面で、消耗品費、また時間外、勤務手当の増額を抑えて予算を見積もってきたところでもあります。そういったことで、統合中学校の関連でありますけど、今回が一番大きい。そして、昨日も代表質問の中でご説明させていただいたわけではありますが、この20億4,035万円を関連工事、そういったことで、大きな形はこういう形で終わるだろうというふうに思っております。

それと、今言われた町債の関係だとか今後の等々というのは、以前に、去年にも健全化判断比率の町債の現在高、一般会計の推移というやつを、今ちょっと私のほうであれなんですけど、これお手元にあると思うんですよ。（「古いやつはね」「見直しはしていますので、まずは」の声あり）大体今見直しをですね、あまりそれほど大きな見直しではないので、ただ、一番そういった面では、令和8年度でありますので、今回が一つの大きなピークを迎えるんですね。そこから約十……（「令和26年ですね」の声あり）令和26年度で大体今の数字ぐらいに、ラインがですね、落ち着いてくるのかなというふうに思っています。今年度、令

和8年度がピークであります。そういったことで、以前の皆さんにお渡しさせていただいたグラフがありますが、それとあまり大きな差はないわけであります。それをちょっとお手元で見ただけならばというふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

私は何となくね、資料をもらって速報値分かりますけれども、私が見ればいいとかではなくて、やっぱり町民の方に知ってもらいながら、今後、たとえもうこの57億円の町債を20年とか30年かけて返していかなきゃいけないということなんですね。学校の建設は仕方ないとは思いますが。

それでちょっとお聞きしたいのが、施政方針演説の中で人件費やあと公債費の義務的経費の増大も相まってと言っているんですが、別に公債費については今年からどんと上がっていないのに、むしろ3年据置きだから本当に大変なのは、まあ分からないですよ、町長が次の任期、立たれるかどうか分からないけれども、次の任期からなんです。だから、もう借りちゃったから仕方ないんだけど、やっぱりそこをちゃんと評価できていないというところが私はやっぱりちょっと問題じゃないかなと思っています。公債費、今年3億8,000万円だか9,000万円だか、4億円いかない中、実際に公債費は最大で一体幾らになるんです。ちょっとそこだけ一応見込みを教えてください。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 今の件については、副町長のほうから答弁させたいと思っています。

○議長（佐藤長成君） 副町長。

○副町長（平間喜久夫君） お答えいたします。

これはあくまでも見込みという数値です。例えば災害があつたりすれば、またこれも変わってくるという前提でお聞きいただきたいと思います。

確かに、借入れについては今年がピークでございます。償還の負担ですか、これのピークとなるのが大体令和14年から令和18年あたり、7億円超の負担というふうなことで今想定しているところでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

7億円超になるということで、借金するまでは大体3億円ぐらいの推移でいっていましたが

ら、それより3億円ぐらい増えていくのかな。だから、その分やっぱり今後意識していかなきゃいけないのは行財政改革なんですけれども、具体的にこことこの……、事業がちょっと多い部分もあるのかなと勝手に思って、精査しなきゃいけないですけれども。町長の中で、毎年毎年予算を組んでいるわけですから、例えば行財政改革の中で、ここはこう切っていったんだとか、ここは学校建設のためにどうしてもやりたかった事業だけれどもちょっと先延ばしにしたとか、あとここは無駄だったからやめたとか、そういったものを何か具体的にあれば教えていただきたいです。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） まず、先ほど申し上げましたように、第五次長期総合計画、そしてこの後期の計画に沿って今事業を進めていると。そういった面で、特に今回の中学校の準備等々に必要な、これだけ、25億4,000万円というのが今年度なっていくわけですから、それに合わせて新規事業の抑制をさせてもらったということで先ほどお話し申し上げました。そして、継続事業の精査をさせていただきながら、そして内部でも消耗品費とか時間外勤務手当などの増額を抑えて今回の予算をつくったということが、一番の今回のあれです。それだけ皆さんに、各課でも我慢していただいたということでもあります。

そういったところで、主な新規事業であります、1つは中学校の跡地の利用ニーズの調査。これも、昨日、私の施政方針の中でお話し申し上げているので、チェックしていただければ分かるかと思いますが。

あと2つ目には、みやぎ県南中核病院の救急医療負担金。これは2,200万円ぐらいだったでしょうか。

それとあとジオパークの拠点。平間議員からももう少し内容を充実すべきではないかということで、これもご存じのとおり去年の1月27日に認定になったので、なかなか認定になるまではあまり投資等々をできることができなかったのも、今回認定になったということで、もう少し内容を充実させたいということでもあります。

それとあと、若者未来模擬議会を昨年議会の皆さんと一緒にやらせていただいたわけですが、その中で1つでもやはり反映させていこうと、やはり今年度反映させようということで、白山公園のトイレ改修工事、これを反映させていただきます。

それとあと、もう一つ大きいのが小学生の給食無償化。昨日もご説明申し上げさせていただきましたが、代表質問に合わせて。

それとあと、海洋センター照明器具等改修工事、そのほかにも床のあれで、これも約8,000

万円ぐらい金がかかるわけでありますが、これもB&G財団の大きな補助を頂きながらこれを対応していくと。

簡単に言うと、こういう大きなものを新規事業でさせていただきます。そのほかにも小さなものはありますが、主たるものを今お話しさせていただいたところでもあります。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。13番村上一郎君。

○13番（村上一郎君） それでは、私のほうも総括質疑をさせていただきます。

昨年、全国的に被害とか、それから目撃が相次いだ熊出没対策でありますけれども、蔵王町もしかりでございます、出没件数もかなり多く、それから捕獲頭数も例年になく多くなった熊の対策事業でありますけれども、恐らくこの状態ですと、今年ももう春になりますと冬眠から覚めて出てくるのかなと思ひまして、これは、施政方針の中でも町長のほうも熊対策も重点に有害鳥獣対策の強化を図るというふうに表明されておりますけれども、やはり適正管理の中で熊のほうの頭数管理も出てきたものですから、これは各自治体ともある程度力を入れて取り組んでいかなければならない大きな課題になってきたんだなと思ひています。

町民の暮らしの安全を尽くすことは、これは行政側の極めて重要な役割だなと思ひておりますので、その辺についてこれからの取組についての所見をお伺いしたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 今回の私の施政方針でもちょっと述べさせていただいております。昨年でございますが、54頭、蔵王町で熊を仕留めさせていただいたところでもあります。それとあと、やはり町民の安全・安心、そして、蔵王町は農業と観光の町でありますので、やはりそれにも忠実に安全・安心、そういったことを考えながら対応していくと。

特に、去年12月であります、オルレであります。遠刈田温泉コースのオルレを中止させていただいたわけではありますが、それもやはり熊の被害に遭ったら大変だろうということで、やっと今年5月22日ではありますが、県当局と打合せをしながら、今その予定でやっていくわけではありますが、その辺もやはりきちんと安全を確認しながらやっていきたいと。

それとあと、昨年であります、村上一郎議員さんから一般質問をいただいたところでもあります。その一般質問の内容を大分我々の内部で精査をさせていただきました。その精査させていただいた形できちんと対応していきたいなというふうに思ひておりますので、以上であります。詳細については、あとここはあれなので、その辺の大まかなところでお話をさせていただきました。

○議長（佐藤長成君） 13番村上一郎君。

○13番（村上一郎君） ありがとうございます。

昨年12月に一般質問させていただいたんですけれども、それを反映させる形で来年度は取り組んでいきたいというご答弁をいただきましたけれども、やはりオルレの関係も、春の開催ですから、まだ秋ではない状況ですので実施可能にはなるかと思えますけれども、引き続きある程度の危機感を持って対策は継続していかないと駄目なのかなと思っています。その辺はしかと取り組んでいただくようお願いしたいと思います。

では、あと話は変わりますけれども、いろいろ人口減少時代に入りまして、なかなか、それぞれの地方自治体としてどのように持続可能な町政運営をやっていくか、行政の運営もなかなか難しい局面に来ているんだなと思っています。特に蔵王町とほかの近隣とかの自治体との行政サービスの格差が生じますと、移住定住促進を掲げたとしても、より高度なサービスのあるところでどうしても人口が増えていく、そんな感じも見受けられます。他自治体との間で行政サービスの格差が生じないようにということで、いろいろ国のほうも政策を考えてはいるようではありますが、どうしても財源上なかなか難しい自治体の関係で、特に給食費の関係なんかはそうなんですよね、財源の豊かなところでもういち早く小中学生の給食費無償化に取り組んでいますし、今回たまたま蔵王町、小中学生の無償化に令和8年度からなるということでもありますけれども、その辺も含めて、子育て支援とか、それから少子高齢化対策とか教育環境整備、この辺も含めて住民サービスの低下を招かないようにしていかないと駄目なんだなと思っています。ですから、蔵王中学校の開校準備という、本当の重要な令和8年度を取組になりますけれども、ほかも含めて住民サービスにきちんと取り組んでいく、サービスの格差が広がらないようにする、その辺も含めて、どういうふうに状態を保っていきながら、人口減少対策も取り組んでいかないと駄目なんだなと思っておりますので、その辺について今年度以降の町長のお考え、見解をお願いしたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） ありがとうございます。

まず1つは、蔵王町としてほかの市町村との格差はあってならないということではありますが、蔵王町は子育て支援のほうを大分早くから取り上げてきているというふうに自負をしているところであります。まず1つは医療費の関係ですね。（「子ども医療費」の声あり）ええ、子ども医療費の関係。それで小学校まで無料にしたり、中学校まで段階的に行って、今は高校生まで無料ですが、これも仙南ではいち早く蔵王町は取り上げてきておりますし、あと、ずうっと歴代の町長からやってきているのは、すこやか養育、あとあったか支援金だと

かですね、これもずうっと歴代の方々からきています。

あと給食費の関係も今回させていただいていますが、それよりもですね、いろんなことを取り上げて、詳細等については当然今度、特別委員会でやってもらって結構であります。昨日もお話し申し上げましたように、移住定住の促進で、やはり定住促進事業補助金制度を活用しながら、8年間で215人ですよ、蔵王町に入ったの。そして、そのうち町外から入ってきた方が99件。8年間でこれだけの実績があるんです、蔵王町。ですから私は、村上議員さん、誇りに思っていると思うし、よそにない、それだけ、まあ私が一生懸命頑張っているんでなくて、やはり町民が農業と観光の町として、そして議員さんはじめ、そしてそこで働いている皆さんが一生懸命に頑張っているからこそ、このように99名の方が8年間で入ってきている。こういう実績はないと思います。ぜひひとつ、だから私は担当課長には、マスコミで1回、こういった一つの、取り上げてもらったらどうだということをよく言っているんですが、それだけ自負をしていいのかなというふうに思っています。

以上であります。

○議長（佐藤長成君） 13番村上一郎君。

○13番（村上一郎君） 町長のおっしゃるとおりでありまして。いろんな冊子がありまして、宮城県内の各自治体ごとの子育て支援策とか行政サービスの内容なんかの冊子もあるんですね。結構、蔵王町は以前からいろんな子育て関係、医療費の無償化も含めていち早く取り組んでいまして、あと教育関連のほうも、以前は校長先生方とお話しすると、蔵王町はほかと比べて見劣りしないように結構教育予算を取っていただいていますねというのは聞いてきました。ですから、それが、どんどんほかの自治体も、どうしても競争になってしまうので、いろんなサービスを、いろんなアイデアを含めて、よそからの自治体も含めて、それを我が市なり町で取り組もうとしているわけなんですね。ですから、今現在はあんまりレベルの差がなくなっているんだなという感じ方はします。ですから、その辺ほかの町と比べてどうのこうの言われると逆に気に障るかもしれませんが、やはりほかの自治体で取り組んでいる、蔵王町ではないような、よい行政サービスのことも含めていろいろ情報を収集しながら、住民サービスの低下を招かないようにすべきなんだなと思っておりまして、その辺、今見解をお聞きしたところでございます。

それでは、3つ目のことで、3回目ですので。今回、2月に衆議院解散総選挙の衆議院のほうの選挙が行われました。所信表明の中でも、施政方針の中でも、積極財政施策が加速すると思われる町長のほうで表明されておりますけれども、選挙後の今の構成が自民党の単独

過半数以上というふうになっていますけれども、これが果たして各地方自治体のほうにどのような関係性を持つ選挙結果になったのかなというその辺も含めて、これから当然国からの支援とかの要望とかいろんなのを出して積極的に予算を持ってくる関係上、積極的財政である程度出してもらえるんだったら、どんどん地方のほうに分配していただくように要請活動も重要な首長としての活動だなと思っております。ですからその辺、令和8年度以降ですね、今の選挙の結果を踏まえた形で、どう捉えながら、そしてどう我が町のほうに財政支援するような要請活動をしていくのか、その辺も含めて町長の心構えをお聞きしたいと思えます。お願いします。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） なかなかこの件についてはですね、ここにだけお話しできるかなと思っていますが。

まず1つは、議員さんの場合だと、仙南町村議会というのがあって、その上に宮城県町村議会があって、そして全国議会があると。それと同じで、三団体といって、町長たちの仙南、そして宮城県、そして全国町村会、そして全国の議会、そしてあと知事会だとか、そしてあと市長会、そうやって団体があるわけですが、その中で蔵王町のことだけというと、今この場でというのはなかなか難しいところであります。ただ、今までの蔵王町に、蔵王町というか、私たち3区でありましたので、その3区の中にやはり政権与党の先生がいなかったということが、なかなか私たちのこの1年ちょっと、聞いていただけるような環境でなかったということだけはお話し申し上げることはできます。そういったことで、今度は与党の先生、3区にも誕生しましたので、そういった面ではいろんな面でお話ししやすくなるなというふうに思っています。

ただ、全国を見た場合に、今回ご存じのとおり、東北だけでも青森と秋田が地方選挙で1人減になっている。あとはもう東北だけで全員が与党の自民党、取ったわけでありまして。そういった面で全国が、今、村上一郎議員さんが言われるようなこと、我が町へ、我が町へと行って水田の水を流すと、幾ら金があっても国も大変だろうなというふうに思っています。そういった面では、こんなことを言うのはあれなんですけど、優先順位というのをつくってそしてお願いしなければいけない。それともう一つは、さっき言った三団体、また六団体とあるんですが、そういった団体を使って、やはり県全体的な事業というのをつくって、そしてそれで要望活動をしていかなければいけないなというふうに思っているところでもあります。

実は先週でありますけど、私、全国の治水砂防協会の理事をやっておりますので、その理事会

の中でも同じようなことがあったわけであります。そういったことで、これからそれぞれの各予算取り、予算の確保というのは、なかなかやはり与党の議員さんが多くなれば多くなるほど難しさが出るんだろうなということで、この前、理事会が終わって会食の場があったんですが、その中にいろんな、二階前幹事長だとか鈴木幹事長、あと森山会長が一緒にお話をした中でそういったお話もあったところであります。そんなことで、なかなか難しさもある。与党が多く取れたから、それだけでいいものではないのではないかなというふうに思っています。

私なりの一つの思いを語らせていただきましたので、私イコール云々ではなくて、私の個人的なお話とさせていただきます。

○議長（佐藤長成君） それでは、ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

それでは、ほかに質疑ありませんので、この辺で本案に対する質疑はとどめたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、本案に対する質疑はこれをもって打ち切りいたします。

お諮りいたします。本案は慎重な審議を行うため、蔵王町議会委員会条例第5条の規定により、議長を除く全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、予算特別委員会に審査を付託したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、議長を除く全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第3号令和8年度蔵王町一般会計予算については、予算特別委員会に審査を付託することに決しました。

日程第 4	議案第 4号	令和8年度蔵王町国民健康保険特別会計予算
日程第 5	議案第 5号	令和8年度蔵王町宮財産区特別会計予算
日程第 6	議案第 6号	令和8年度蔵王町介護保険特別会計予算
日程第 7	議案第 7号	令和8年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算
日程第 8	議案第 8号	令和8年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算
日程第 9	議案第 9号	令和8年度蔵王町水道事業会計予算
日程第 10	議案第 10号	令和8年度蔵王町下水道事業会計予算

○議長（佐藤長成君） 続きまして、日程第4、議案第4号令和8年度蔵王町国民健康保険特別会計予算、日程第5、議案第5号令和8年度蔵王町宮財産区特別会計予算、日程第6、議案第6号令和8年度蔵王町介護保険特別会計予算、日程第7、議案第7号令和8年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算、日程第8、議案第8号令和8年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算、日程第9、議案第9号令和8年度蔵王町水道事業会計予算、日程第10、議案第10号令和8年度蔵王町下水道事業会計予算、以上7件を一括議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） ただいま一括上程されました議案第4号から議案第10号まで、7件の各種特別会計予算について、それぞれ提案の理由をご説明申し上げます。

初めに、議案第4号令和8年度蔵王町国民健康保険特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ16億3,000万円とするものであります。前年度より1,900万円、1.2%の増となったところであります。

次に、議案第5号令和8年度蔵王町宮財産区特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ301万6,000円とするものであります。前年度より84万8,000円、39.1%の増となりました。

次に、議案第6号令和8年度蔵王町介護保険特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ15億6,400万円とするものであります。前年度より8,000万円、5.4%の増となったところであります。

次に、第2表債務負担行為については、新たに1件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、議案第7号令和8年度蔵王町後期高齢者医療特別会計予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ2億1,740万円とするものであります。前年度より2,450万円、12.7%の増となりました。

次に、議案第8号令和8年度蔵王町国民健康保険蔵王病院事業会計予算についてご説明を申し上げます。

本案は、予算第3条の収益的収入及び支出において、病院事業収益を3億3,451万4,000円に、病院事業費用を4億7,818万5,000円にしようとするものであります。

次に、予算第5条に定める資本的収入及び支出については、資本的収入を5,369万円に、資本的支出を3,298万8,000円とするものであります。

次に、議案第9号令和8年度蔵王町水道事業会計予算についてご説明を申し上げます。

本案は、予算第3条の収益的収入及び支出について、上水道事業収益を4億5,729万円、簡易水道事業収益を311万7,000円に、上水道事業費用を4億8,291万5,000円、簡易水道事業費用を534万円にしようとするものであります。

次に、予算第4条に定める資本的収入及び支出については、上水道事業資本的収入を2億2,929万9,000円、上水道事業資本的支出を3億1,458万9,000円、簡易水道事業資本的支出を3万1,000円とするものであります。

次に、予算第5条の債務負担行為については、新たに1件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、予算第6条の企業債については、老朽施設更新事業等の限度額等を定めようとするものであります。

最後に、議案第10号令和8年度蔵王町下水道事業会計予算についてご説明を申し上げます。

本案は、予算第3条の収益的収入及び支出において、下水道事業収益を2億9,971万円、下水道事業費用を3億356万2,000円にしようとするものであります。

次に、予算第4条に定める資本的収入及び支出については、資本的収入を1億7,682万円に、資本的支出を2億3,761万2,000円にしようとするものであります。

次に、予算第5条の債務負担行為については、新たに3件の債務負担行為を設定しようとするものであります。

次に、予算第6条の企業債につきましては、公共下水道事業及び流域下水道事業の限度額等を定めようとするものであります。

以上、令和8年度各種特別会計予算7件について一括でご説明申し上げましたが、本案につきましても、予算特別委員会において詳細に審査されると思いますので、慎重にご審議の上、原案どおり可決決定くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（佐藤長成君） 提案理由の説明が終わりましたので、一括議題といたしました7件について一括質疑に入ります。

一括議題とした7件につきましても、予算特別委員会に審査を付託する予定でありますので、質疑は政策的なもの、あるいは総括的なものについて質疑をされるようお願いいたします。

一括議題といたしました7件に対する質疑を許します。質疑ありませんか。8番村上正文君。

○8番（村上正文君） 議案第10号の下水道事業会計予算についてお伺いをしたいと思います。

当初予算書の311ページになります。第3条に掲げる収益的収入及び支出でございます。第1款の下水道事業収益、これが2億9,971万円、そして下水道事業費用については3億356万2,000円というふうなことで、収支で見ますと385万2,000円の赤字予算というふうになってございます。実は、令和8年度から5年間の財政の見通しによって、今年4月から一律下水道使用料を20%値上げをするというふうなことで、この前条例の改正もあったわけでございます。前年度の下水道使用料の予算に対して、令和8年度は約2,200万円ぐらい下水道使用料の収入額も増額見込みをしているわけですが、私は、使用料の見直しによって大きな増額にはならないにしても、せめてとんとんぐらいで黒字の収支予算になるのかなというふうに見ていたわけですが、初年度から赤字予算の計上というふうなことで、料金改定と今回の予算の計上についてどのように理解をすればいいのかというふうなことでまずお尋ねをしたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） おっしゃられるとおりであります。このように、20%アップさせていただいてもこれだけの350万円からの赤字が出てくるわけでありましたが、ただ、それも最小限に抑えてやっていきたいと思います。実は内部なんかでも、水道の審議会というか、関係の皆さんに集まっていたきながらやったんですが、その中でも、もうちょっとアップすべき、ただ、一気に30%だとか40%いけばこれは黒字になるわけでありましたが、そうもいかなくて、最低限ぐらいに抑えてこういう数字が出たということでもあります。

なお、担当の平間課長のほうからご説明をさせたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 上下水道課長。（「315ページに関して」の声あり）

○上下水道課長（平間勝文君） 議員の質問にお答えさせていただきたいと思います。

ご案内のとおり、12月で下水道料金一律20%ということで改定をお認めいただきました。それで、今回議員がおっしゃるように、本来、3条予算というのは収入と支出、収支バランスはとんとんであることが望ましいということになっております。今回、そこを目指しながら予算積もりをしたんですが、実は、そのときもお話、ご指摘もあったんですけども、老朽管があと10年ぐらいで出てきますということなので、早急に下水道のほうにおいても管路ストックマネジメントの実施ということで、要は管路の老朽化具合等々を詳細に調べながら対応していくという計画をつくっていかないとこれは間に合わないという判断に立ちまして、その辺も予算をちょっと今回、特別委員会のほうで詳細は説明させていただきますが、上げ

ておりますので、とんとんということでは本当は目指したんですけれども、なかなかそこまではいかなかったということで、議員ご指摘の内容になったということでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） 8番村上正文君。

○8番（村上正文君） ありがとうございます。

今年4月からの使用料の改定に当たって、昨年11月17日に全員協議会でいろいろ説明をいただいたわけですが、そのときの資料を見ますと、令和8年度から令和12年度までの5年間で見ると、毎年収支で不足する金額が、5年間平均で見ると1年あたり2,000万円弱不足するんだというふうなことで、それをとんとんに持つていくためには20%の使用料の値上げが必要だというふうなことで今回の改定なわけですが、それで、令和8年度は、そのストックマネジメントですね、その計画を作成するというふうなことで大きな支出が出るというふうな特殊事情があったために、たまたま若干の赤字予算になるというふうなことの説明だと思うんですが、トータルとして5年間を見た場合に、やっぱり最終的にとんとんになるぐらいの見通しに立てるのかどうか、その辺について確認をしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 同じく上下水道課長から答弁させます。

○議長（佐藤長成君） 上下水道課長。

○上下水道課長（平間勝文君） お答えさせていただきたいと思います。

今、議員のご指摘のとおり、私も2,000万円が足りないということでお話し申し上げて、20%の料金改定ということでお話し申し上げて、最終的にはあのときも5年間くらいで今後見ていきたいということで、今回、今議員がおっしゃったように特別な事情がありまして、管路の計画というところを早急にやらなくてはならないという判断に立ちましたもので、若干の赤字ということで3条は組ませていただきましたが、5年内には収支のバランスが取れるように持っていきたいと考えておりますので、その辺計画的に予算のほうを組んでいきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） それでは、ほかに質疑ありませんか。1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） 蔵王病院の予算のことでお聞きしたいんですけれども、今回の中核病院のほうにという話がありましたけれども、療養施設、病床もなくして診療所に向かっていく中、私はずっと療養病床がなくなったら売上げの柱がなくなるんじゃないかということをする

ごく心配していて、やっぱり実際に予算書を見たときに、去年の予算と比べたときに7,300万円収益を減らしているにもかかわらず、支出は2,000万円上がっているんですね。だからといって他会計補助でその分を補助するののかということそうになっていなくて、純粹にそのまま3億3,400万円の収入、支出が4億7,800万円で、これで経営できるんですかね。いっぱいキャッシュがあるんですか、1億円もキャッシュがあるんですたっけ。ちょっとそれが分からなくて、すみません。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） この件に当たって、数字的なこともありますので、病院事務長にして答弁させたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 病院事務長。

○病院事務長（鈴木智子君） ご説明させていただきます。

確かに収入のほうにつきましては、現状を見まして入院がかなり減っているということで、本日も入院されている方は7名、26床中7名ということで、かなり今年度下半期減っております。これは他の病院等を聞きましても同じということで、かなり病院の経営が苦しくなってきました。支出のほうを見ますと、かといって職員の給料ですとか、かかる費用につきましてはそれなりに、入院患者さんが少ないから、外来の患者さんが少ないということであつてもかかってくる分がありますので、支出のほうでは見ております。

確かにここに1億円のギャップがあつて、赤字ということで町のほうから負担いただくということで予算計上させていただいているんですけども、まず、一応当初のほうではこのような予算でやってまいりたいと思っておりますが、いろいろやっていく中で足りない分とかそのようなものも出てくる可能性もありますので、その辺については補正のほうで対応させていただきたいと思っておりますので、当初につきましてはこのような予算で組ませていただきましたので、よろしく願いいたします。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） それはおかしいと思います、私はやっぱり。これまでだったら、強化プランの中で、一応目標で療養病床を満床にして黒字に持っていくんだと。黒字に持っていけば、その他会計補助、約1億円から2億円、あれ含めてですよ、国からの補助を含めてね、需要額含めて1億円か2億円で足りるはずだったんですけども、療養病床を残した上で、それをして足りないから補正で持っていくんだというのは分かるんですけども、今回は明らかに療養病床をもうなくして診療所にしていくんだ、けれどもその過程においてやっぱり

1億続いて、何がしのお金が足りないと言っているのに、それでお金、町で補助、後で補正しますからなんていうのってちょっと違うんじゃないのかと。もう明らかに、だって病院の働いている方が言っていましたよ。療養病床がなくなることについてどう思いますかって、いや病院がなくなっちゃうんだなってちょっと諦めムードですなんていう話も私聞いているんです。確かに診療所としては残るかもしれないし、実際中核病院との話合いがあるから目に見えないのは分かるんですけども、今の当初予算の中でもう、今7人しかいないし、これから増えていくななんていうことないですよ、もう。診療所を目指すんだから、これから増えていかないですよ、町長ね。だったら、ちゃんと診療所にしていく過程の中で、他会計補助、町からの補助金ですよ、ちゃんとこの支出に見合った分まで当初予算で見なきゃいけないんじゃないですか、町長。いかがですか。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 257ページのキャッシュフローがありますので、そこを見てください。何とかその辺でとんとんでいきそうな感じもしますし。あと、中核の参入してからは、その辺ちょっと、今、中核とも横の連携を取りながら、そして数字等々も含めて、この半年ぐらいやっていかうとしているところであります。

このキャッシュフローについて副町長のほうから説明させます。

○議長（佐藤長成君） 副町長。

○副町長（平間喜久夫君） それでは、病院の経営についてでございます。

今のところ、このキャッシュフローを見てもらうように、確かに3条予算では大分赤字幅が大きくなるということではございます。ただ、4条予算のほうでもちょっと補助金が入ってきてプラスになったりしています。最終的に……、今のあくまでも予定でございます。ただ、このキャッシュフローを見る限りは、年度末の若干のお金を残した形でできるんだよというようなことで予算のほうは計上させてもらっておりますので、ご理解いただきたいというふうに思っております。あくまでも、いわゆる減価償却費とかそういう非現金部分については、実際の支出が伴わないわけです。お金の支払いというのはありませんので、最終的にこれで、執行部としてこの形で何とかいけたらというふうなところで今考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） キャッシュフローは私もちょっと確認したんですけども、資金期首残

高3,000万円、期末が2,500万円で推移するというんですけれども、何かちょっとこれは私にはあんまり。しかも、減価償却だって3,000万円ぐらいですよ。今までこれまでずうっと議論されてきた蔵王病院の赤字幅の中で、これで済むのかなというのがちょっと。すみません、ここちゃんと私が見えていない。ただ、1,500万円だけのキャッシュフローが減るだけで済んだら、これまでだって蔵王病院って経営できているんじゃないかなと、何となく素人目で思ってしまうし、あとやっぱり、もう1個確認したいのが、あくまで今回診療所になるのは、赤字だから診療所になるんじゃないなくて、病院の先生が見つからなくて診療所になるんですよ、町長。そこだけちょっと最後確認させてください。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 以前からずっとお話し申し上げていますが、まず1つは黒字化になかなかならない。それとあと、療養が思うように、十五、六人の方が入ればとんとんぐらいでいく場合もあるんですけれども、それもご存じのとおり半分以下であるということなんです。今7人かな、療養、今入院の患者。それと、何よりもですね、今医師不足なんです。医師不足で、東北大学からはやっこの1年間だけ、蔵王町さんとは長いお付き合いしてきているので、この1年間だけはどうかしましようということが1つ。2つ目には、薬剤師が見つからないんです。やっこの今薬剤師さんが、どうか1年だったら頑張ってやりましょうという返事をもらったばかりなんです、実は2月に。そういうことなんです。

医師不足、薬剤師不足、そして経営がうまくいかない。そういったことで、いろんなことを考えた場合に、中核と一緒にあって、そして今企業長ともお話ししながら。そして、今度、蔵王診療所になったときには、新たな診療科目も増やして多くの方々に足を運んでもらえるような、そういった環境を整えていきたいなというふうに思っているところであります。

以上です。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

それでは、ほか質疑ありませんので、一括議題といたしました7件に対する質疑はこの辺でとどめたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、一括議題といたしました7件に対する質疑は、これをもって打ち切りといたします。

お諮りいたします。一括議題といたしました議案第4号から議案第10号までの7件につきましては、予算特別委員会に審査を付託することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、議案第4号から議案第10号までの7件につきましては、予算特別委員会に審査を付託することに決しました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

大変お疲れさまでした。

午前11時06分 散会

上記会議の次第は、事務局長の記載したものであるが、内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 会 議 長 佐 藤 長 成

署名議員6番 葛 西 清

署名議員9番 今 千 佳